

## 第65回全国博物館大会のご案内

拝啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より博物館の運営、活動にご尽力されていることに心から敬意を表します。

さて、今年で65回を数える全国博物館大会が、公益財団法人日本博物館協会の主催、大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、大分県博物館協議会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団の共催、文部科学省の後援を得て、平成29年11月29日（水）から12月1日（金）までの3日間、大分県大分市において開催されることになりました。

古くから「豊の国」と呼びならわされた大分は、古代にあっては全国の人幡神の総本社・宇佐神宮に弥勒寺が造営されて神仏習合がすすめられるとともに、国東半島では「六郷満山」と総称される寺院群によって一大仏教文化が花開き、戦国時代にはキリシタン大名の大友宗麟によって南蛮貿易が最盛期を迎え、さらに江戸時代後期からは、西洋の科学主義を取り入れた三浦梅園や蘭学を学んだ帆足万里、西洋医学の前野良沢、咸宜園を開いた廣瀬淡窓、慶應義塾の福澤諭吉ら著名な学者や思想家を多数輩出するなど、常に外来の文物や思想を積極的に取り入れながら、多様に富んだ文化を形成してきた土地柄です。

こうした大分の地で、わが国の博物館が置かれている「いま」を多角的に検証し、目指すべき「これから」を持続可能性の中に捉えることは極めて意義深く、また喫緊の課題とも思われますので、今大会のメインテーマを「今、博物館に求められていること ～持続可能な社会における役割～」とすることにいたしました。会期中に行われるレクチャーや交わされる討議を通じて、人材育成、地域振興、災害対策などの諸課題に有効な展望が見出されるとともに、2019年開催予定のICOM京都大会へ向けての気運醸成につながりますことを期待しております。

開催地の大分は、別府や由布院といった国際的に知られた温泉地をはじめ、ミヤマキリシマの生息地として有名なくじゅう連山、さらには今年6月にユネスコエコパークに登録された宮崎県との県境地域「祖母・<sup>そぼ</sup>傾・<sup>かたむき</sup>大崩」など、国内でも有数の豊かな自然に恵まれた観光地でもあります。ぜひこの機会に、当地が育んだ山海の珍味を食しつつ、深まりゆく大分の秋を満喫されてはいかがでしょうか。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

<開催要項>

- 主催 公益財団法人日本博物館協会  
共催 大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、  
大分県博物館協議会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団  
後援 文部科学省（予定）  
協賛 三和酒類株式会社  
会期 平成29年11月29日(水)～12月1日(金) 3日間  
会場 iichiko 総合文化センター（iichiko 音の泉ホール等）、大分県立美術館

iichiko 総合文化センター（iichiko 音の泉ホール等）

住所：〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号

TEL：097-533-4000（代表） FAX：097-533-4009

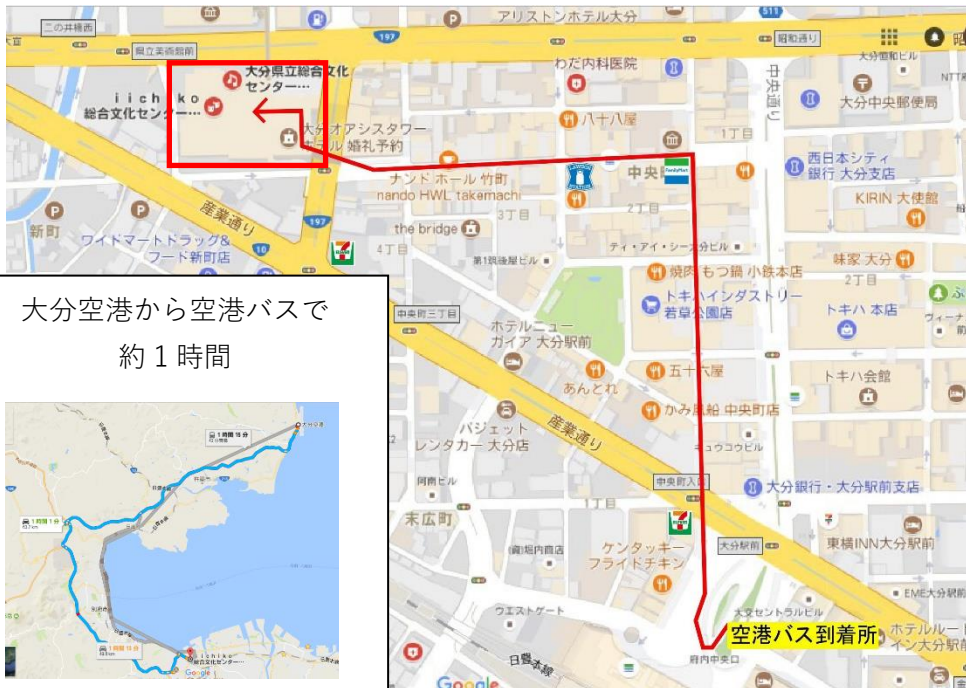
大分県立美術館

住所：〒870-0036 大分県大分市寿町2番1号

TEL：097-533-4500 FAX：097-533-4567

案内図

大分駅前から徒歩約10分



JR 大分駅

交通案内

【鉄道】 大分駅から 徒歩 10 分

【飛行機】 大分空港から 特急バス「エアライナー」で大分駅まで約 60 分

【自家用車】九州横断自動車道・大分 IC から車で約 7 分

国道 10 号線・別府市内から車で約 25 分

< 日程 >

第 1 日目：11 月 29 日（水） 会場：iichiko 音の泉ホール

時間	プログラム
12:30～13:30	受付
13:30～14:15	開会式 挨拶：銭谷 眞美（公財）日本博物館協会会長 祝辞：文部科学大臣、大分県知事、大分市長 表彰式：顕彰、棚橋賞、博物館活動奨励賞
14:15～14:20	事務連絡、決議起草委員指名
14:30～15:15	基調講演「持続可能な社会に向けた博物館の役割」  講師（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 佐藤 禎一
15:30～17:00	全国博物館フォーラム 「博物館を取り巻く課題と展望」 ・文部科学省、文化庁からの報告 ・「博物館登録制度のこれから」について ・ICOM 京都大会について ・大分県内の博物館の状況について
17:10～18:10	展示プレゼンテーション
18:30～20:00	情報交換会（於：大分オアシスタワーホテル） （アトラクション） 鶴崎踊（出演：鶴崎おどり保存会）

第2日：11月30日（木） 会場：iichiko 総合文化センター、大分県立美術館

時間	プログラム
9：30～11：45	<p>シンポジウム「博物館における人材育成 ～学校教育との連携を例に～」</p> <p>コーディネーター 東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田 喜代美</p> <p>パネリスト 学校法人共立女子学園 理事長 御手洗 康 埼玉県教育委員会 教育長 小松 弥生 (元独立行政法人国立美術館 理事兼事務局長) 国立科学博物館 博物館等連携推進センター長 小川 義和 大分県教育庁義務教育課長 米持 武彦</p> <p>事例発表 大分大学教育学部 准教授 藤井 康子 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 企画室企画監（学校連携担当） 木村 典之 大分県立美術館 学芸企画課 主幹学芸員 (教育普及グループリーダー) 榎本 寿紀</p>
11：50～12：30	展示会プレゼンテーション／決議起草委員会
12：30～13：30	昼食、休憩
13：30～15：45	<p>分科会1「芸術文化による観光振興・地域づくり」</p> <p>司会 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事 山出 淳也</p> <p>講師 由布院 玉の湯 代表取締役社長 桑野 和泉 講師 株式会社マリーンパレス 代表取締役社長 橋本 均</p> <p>講師 九州旅客鉄道株式会社 常務取締役 後藤 靖子 講師 大分香りの博物館 館長 江崎 一子</p>

	<p><b>分科会 2 「求められる新たな学芸員像」</b></p> <p>司会 九州国立博物館 館長 島谷 弘幸</p> <p>講師 九州大学大学院人文科学研究院教授 後小路 雅弘</p> <p>講師 大分合同新聞社文化科学部 部長 安東 公綱</p> <p>講師 大分市美術館 館長 菅 章</p> <p>講師 大分県立美術館 館長 新見 隆</p> <p><b>分科会 3 「文化財の防災及び災害復旧対策」</b></p> <p>司会 京都大学理学研究科 教授 竹村 惠二</p> <p>講師 熊本大学大学院先端科学研究部環境科学部門 教授 伊東 龍一</p> <p>講師 別府大学史学・文化財学科 教授 飯沼 賢司</p> <p>講師 大分県立先哲史資料館 館長 大津 祐司</p> <p>講師 大分県立歴史博物館 学芸調査課長 菅野 剛宏</p>
16:00～16:30	全体会議、閉会式
16:30～18:00	大分県立美術館 施設および展覧会見学 (自由参加)

分科会 1：地域の歴史や自然、そこで育まれた文化を背景に、どのように地場の浮揚や観光振興が図られてきたかについて、「おんせん県おおいた」の実践事例を報告。併せて、地域振興において博物館が担うべき役割について検討する。

分科会 2：学芸員の役割について、設置者が異なる様々な立場から現状を報告。それを受けて、学芸員として変わらず堅持すべきこと、今後、意識的に変革すべきこと等について議論を深める。

分科会 3：近年多発する自然災害とそれにともなう文化財被害について、具体的な事例を報告。これに対して、どのような対策が講じられてきたかを情報共有しつつ、さらなる効果的な取り組みについて意見交換する。

第3日：12月1日（金）

時間	プログラム
9：00～17：35	施設見学

\* 9時より自由参加プログラムとして、施設見学を行います。（参加費無料・各コースとも貸切バス利用、昼食：各自）

ご希望のコースをお選びの上、お申し込みください。

<施設見学コース>

◆Aコース（大分・豊後大野コース）（バス）

9:00 オアシスタワーホテル

⇒ 9:20 大分市歴史資料館 10:10⇒  
⇒11:20 朝倉文夫記念館 12:10⇒  
⇒12:40 原尻の滝 （昼食：各自） 14:00⇒  
⇒15:10 大分市美術館 16:00⇒  
⇒16:10 大分駅 16:15⇒  
⇒16:20 大分オアシスタワーホテル 16:25⇒  
⇒17:35 大分空港

◆Bコース（別府・宇佐コース）（バス）

9:00 オアシスタワーホテル

⇒ 9:40 大分香りの博物館 10:30⇒  
⇒11:20 安心院葡萄酒工房 12:10⇒  
⇒12:40 宇佐神宮 （昼食：各自） 14:00⇒  
⇒14:15 大分県立歴史博物館 15:05⇒  
⇒15:20 宇佐駅 15:25⇒  
⇒16:25 大分空港 16:30⇒  
⇒17:35 大分オアシスタワーホテル

\*各コースのより詳細な情報については、後添<見学施設の紹介>を参照。

## 資料交換のご案内

資料交換ご希望の館園は、パンフレット、リーフレット等各500部を平成29年11月27日(月)必着にてご送付ください。

送付先：〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号  
公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団  
全国博物館大会事務局あて  
TEL：(097) 533-4008 FAX：(097) 533-4333

## 情報交換会のご案内

大会を機に親睦を深め、情報を交換する場として、下記により情報交換会を開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成29年11月29日(水) 18時30分～20時00分  
会 場 大分オアシスタワーホテル 大宴会場 5階 孔雀の間  
〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号  
TEL：097-533-4411

参加費 6,000円

※ 情報交換会のキャンセル受付は、11月10日(金)までとさせていただきます。それ以降は、キャンセルの場合でも参加費を申し受けますので、予めご了承ください。

## 参加申込み方法のご案内

大会参加申込み及び参加費お支払の締切は平成29年11月1日(水)です。

参加申込 ①別紙申込書にご記入のうえ下記宛に郵便またはFAXでお送りください。

②参加費を指定の口座にお振り込みください。

大会参加費 会員 6,000円 会員外 10,000円

情報交換会費 6,000円

※ご入金の確認をもってご参加の受付完了となります。

<p>申込書送付先</p>	<p>公益財団法人日本博物館協会「大会係」 〒110-007 東京都台東区上野公園12-52 黒田記念館 別館3階 TEL (03) 5832-9108 FAX (03) 5832-9109</p>
<p>支払い方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便振替 番号：00190-3-80123 加入者名：公益財団法人日本博物館協会</li> <li>・現金書留 上記申込書送付先へ、申込書を同封の上ご送付ください。</li> <li>・三井住友銀行 霞が関支店 (普) 5195412 口座名：公益財団法人日本博物館協会</li> </ul> <p>※銀行振込をご利用の場合は、必ず①お振込日時、②お振込み人様名義、③参加者氏名、④参加者のご所属、をご連絡ください(電話でもFAXでも結構です)。</p> <p>銀行振込の場合、お申し込み者様とお振り込み人様の照合が困難な場合があります。ご入金の確認をもってご参加の受付完了となりますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。</p>

\* 申し込みいただいた方は、11月29日(水)から12月3日(日)までの間、大分県の博物館等施設(一部)の入館料が無料になります。

【この期間の該当館入館の際には、参加者に配付されるパスカード(11月29日(水)の午前中は、提出された参加申込書の写し)をご提示ください。】

詳しくは、(公財)日本博物館協会ホームページをご覧ください。

\* 宿泊、大会開催中の昼食(弁当)手配については、旅行社(ラッキートラベル株)の要項(別信)をご覧ください。(宿泊先はご自身で手配されても構いません)



(後添)

## <見学施設の紹介>

### ◆Aコース（大分・豊後大野コース）（バス）

#### 【大分市歴史資料館】

大分市歴史資料館は広く大分市民の郷土の歴史を学ぶ場、情報提供の場をめざして、さまざまな活動を行っている歴史資料館です。市内を中心とした先史～近代までの展示などを行っています。大会期間中は開館30周年、また大友氏館跡発掘調査20周年記念の特別展「威信の舞台～よみがえる大友館～」を開催しています。

#### 【朝倉文夫記念館】

大分県大野郡朝地町（現：豊後大野市）で生誕した彫刻家 朝倉文夫を顕彰する朝倉文夫記念公園の中心施設である当該施設は1991年に開館しました。代表作の「墓守」をはじめ、朝倉が愛してやまない「猫」の像など、学生時代から晩年までの作品や、ゆかりの品々の展示、ビデオ上映を行っています。日本近代彫刻の基礎を築いた朝倉文夫の偉業を伝える貴重な施設です。

#### 【原尻の滝】

大分県豊後大野市緒方町の大野川水系緒方川にある滝。日本の滝百選に選ばれており、また、当該地域は日本ジオパークやユネスコエコパークに認定されている自然豊かな地域でもあります。原尻の滝は、幅120m、高さ20mで、「東洋のナイアガラ」と称えられることもある雄大さが魅力です。

#### 【大分市美術館】

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内にあり、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、楽しめる生涯学習施設としての運営をめざしています。豊後南画や大分市にゆかりのある画家の優れた作品などの常設展示をしているほか、大会期間中は「アートフルロードプロジェクト2017 まちなかGO!アートみつきたい」を開催しています。

### ◆Bコース（別府・宇佐コース）（バス）

#### 【大分香りの博物館】

学校法人別府大学の創立100周年事業として、旧「大分香りの森博物館」より貸与された貴重な収蔵品3,625点をもとに開館。「香り」をテーマにした全国でも珍しい博物館です。観光から教育・研究利用まで、幅広いニーズに応えるマルチ対応型ミュージアムを目指しており、膨大な数の香水コレクションや香りの

歴史・人々との関わりについての展示のほか、香水づくりや芳香（アロマ）浴などバラエティに富んだ体験が楽しめます。

### 【安心院葡萄酒工房】

大分県宇佐市が拠点の全国的に有名な麦焼酎「いいちこ」ブランドを展開する三和酒類株式会社が、同市安心院町で運営するワイナリー。緑あふれる園内には醸造場、貯蔵庫、ブドウ畑、試飲ショップなどがあり、醸造工程や栽培中のブドウの見学はもちろん、ワインの試飲もお楽しみいただけます。

### 【宇佐神宮】

宇佐神宮は725年（神亀2年）に創建された全国4万社あまりある八幡社の総本宮です。全国約11万の神社のうち八幡神社が最も多く、4万600社あまりの社があり、宇佐神宮は石清水八幡宮、筥崎宮とともに日本三大八幡宮と称されることもあります。近年は外国人観光客にも人気のスポットとなっています。

### 【大分県立歴史博物館】

旧県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館を前身としており、平成10年度に展示室や収蔵庫の拡充、展示内容の刷新などをはかり、館名を改め、再スタートしました。宇佐神宮の近隣に位置し、平成30年に開山1300年迎える六郷満山の中心地国東半島の入口でもあることから、これらの予備知識を得るための場所として観光コースにも多く組み込まれています。大会期間中は、特別展「開山1300年記念 聖なる山—六郷満山と仁聞—」を開催しています。